

「キュービクル式非常電源専用受電設備 認定の手引」（令和2年6月1日 第10版 発行）正誤表

下記の通り、内容に誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

| ページ | 誤 | 正 |
|--|---|--|
| 30 ページ 7.2 外箱など i) 3.2) | $n_{t2} \geq \frac{\{F_H \cdot h_G - (M \cdot G - F_V) \cdot \ell_G\} / \ell}{T_a} \quad (\text{本})$ | $n_{t2} \geq \frac{\{F_H \cdot h_G - (M \cdot G / 1000 - F_V) \cdot \ell_G\} / \ell}{T_a} \quad (\text{本})$ |
| 40 ページ 7.3.10 低圧進相コン デンサ及び直 列リアクトル c) | c) 直列リアクトルを内蔵する低圧進相コンデンサについては、 JIS C 4901 (低圧進相コンデンサ(屋内用)) <u>及び</u> JIS C 4902-2 (<u>高压及び特別高压進相コンデンサ並びに附属機器－第2部：直列リアクトル</u>)に適合するものとする。 | c) 直列リアクトルを内蔵する低圧進相コンデンサについては、 JIS C 4901 (低圧進相コンデンサ(屋内用))に適合するものとする。 |
| 97 ページ 付録6 1. (1), (2) | <p>(1) 設計用水平地震力F_Hは、次による。 $F_H = K_H \cdot M \cdot G$ (kN) ここで、K_H：設計用水平震度 M：キュービクルの質量 (kg) G：重力加速度=9.8 (m/sec²)</p> <p>(2) 設計用鉛直地震力F_Vは、次による。 $F_V = K_V \cdot M \cdot G = (1/2) \cdot K_H \cdot M \cdot G$ (kN) ここで、K_V：設計用鉛直震度 = (1/2) $\cdot K_H$</p> | <p>(1) 設計用水平地震力F_Hは、次による。 $F_H = K_H \cdot M \cdot G / 1000$ (kN) ここで、K_H：設計用水平震度 M：キュービクルの質量 (kg) G：重力加速度=9.8 (m/sec²)</p> <p>(2) 設計用鉛直地震力F_Vは、次による。 $F_V = K_V \cdot M \cdot G / 1000 = (1/2) \cdot K_H \cdot M \cdot G / 1000$ (kN) ここで、K_V：設計用鉛直震度 = (1/2) $\cdot K_H$</p> |